
西春バレーボール部

すくろーす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

西春バレーボール部

【Nコード】

N9331L

【作者名】

すくろーす

【あらすじ】

「もしかして君、マネージャーやってくれるの？」

好きな男の子が死んでしまった痛みを忘れるため、新たな恋を中学で見つけようと心に決めた平松夕緋は同じクラスのイケメン下田達也にそう言われ男子バレーボール部のマネージャーになることを承諾してしまう。

しかし、男子バレーボール部の部員は彼一人で……

笑いあり、恋愛あり、友情あり、シリアスあり、

ファンタジー的要素も……あり？のぶっ飛びバレーボールストーリー

プロローグ 出会いの前の静けさ（前書き）

初小説です。

この小説内でのバレーボールは某超。元サッカーの如く吹っ飛ぶ予定なので、それでもよろしい方はぜひ読んでみてください。
ちなみにまだ下田達也は出てきません。

プロローグ 出会いの前の静けさ

「えーそれではこれより西春学園中等部の入学式を……」
学校行事の恒例である校長先生の長い話が始まった。

正直言つて真面目に聞いている人なんていないのに、
こんなに話を長々と続けられるのはある意味凄いのと思う。

そう思いながら僕は一人の新入生を見ていた。

西春学園中等部1 - A28番平松夕緋。

親友ならこの学校には他にもいるし、どこからどう見ても普通の女子生徒だが、

僕が見ていたのには理由があった。

——僕が生前好きだった人

それ以外特に見ていた理由はない。

もちろん今でも好きだし出来ることなら付き合いたい。

でも、ラブレターを渡した直後に交通事故で死んでしまった僕には無理な話だ。

だから僕は彼女を見守ることにした。

そしてここから彼女と僕の親友たちと僕がまだ知らない人達と、
そして何より僕自身も含んだ（トンデモ？）バレーボールストーリーが始まった。

プロローグ 出会いの前の静けさ（後書き）

多分次からは夕緋目線＋一気にギャグ路線に向かうと思いますので
ご了承ください。

でも必要な時がきたら一気にシリアス路線まっしぐらな緩急付きす
ぎ小説になる予定。

それにしても初小説からスポーツ物はやっぱりきつかったか？

（試合始まってもないけど）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9331/>

西春バレーボール部

2010年10月14日14時19分発行